

緑生瓦版

2006.11.01

第 五 号

効率のよい調査とは...?

札幌支所では、ハヤブサを対象とした調査を実施しています。調査地域は、急峻な崖地が連続する海岸線で、落石など検討課題が多い場所です。さらに、漁民や昆布業を営む人が暮らしており、人とハヤブサとの共生が求められています。この業務のポイントは、あらかじめハヤブサの繁殖状況を把握することです。新たな事業が生じた際に、その情報を基に調査の必要性を含め調査計画を立案するという点です。事業者、研究者、コンサルにおける情報の共有化は、事業が前提となって実施される従来の調査に比べ効率的な調査を推進することが出来ます。

北海道支所
今井 剛

緑生研究所って、どんな会社...?

～特殊な調査の巻～
猛禽類調査の移り変わり

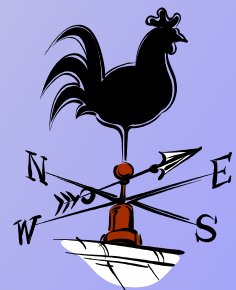
1996年に発行された「猛禽類保護の進め方」の改善版として、2005年に「オオタカ調査の手法に関する改善案」が環境省から報道発表されました。ここでは、その概要と対応案についてお話しします。（調査部 板谷浩男）

2005年に環境省から「オオタカ調査の手法に関する改善案」が報道発表されました。これは、1996年に発行された「猛禽類保護の進め方」の改善版として位置づけられるものです。この改善案では、近年実施されているテレメトリー調査によって得られた情報をもとに目視調査による結果との比較を検討しています。

日本鳥学会 2006年大会でも、テレメトリー調査の結果をもとに目視調査においても最低3日間の調査が必要であることを報告しています。また、同研究では、オオタカの狩りは、とまり場に依存しているため、テレメトリー調査によって、とまり位置を把握することにより有効なデータを高確率でとれるとしています。

「アンブレラ種であるオオタカを指標とした生物多様性モニタリング手法の開発に関する研究」(2003 農林水産技術会議事務局)によれば、オオタカは林縁から200m以内を狩り場として選択するとしていますが、従来の定点調査ではこのようなデータを得ることは困難です。

発表者の方へ個別に質問した結果、目視のみの調査であっても経験のある調査員(オオタカの行動や狩りについて生態的把握、生物情報の活用可能者)であれば、テレメトリー調査に近い有効なデータを効果的に得ることができるであろうと回答を頂いた。



改善案では、調査1日目と2日目とは地点を移動するなどして対応と書かれています。また、これまで明記していなかった調査期間、有効観察距離や調査時間についても、連続した2日間、有効視程距離500m、早朝と定めています。



今後のオオタカ調査は定点調査法ではなく、任意踏査を主体とした調査方法への転換をしなければならない時代へと移りつつあり、その場合、調査はオオタカに関する豊富な知識を備えた調査員により実施されなければなりません。しかし、この任意踏査を主体とする調査ではメッシュ解析のための定量的な把握が困難であるという問題があります。

低予算で調査を実施する場合は、目視による餌場と巣の把握(両者を結ぶラインの確保)を優先し、予算的に余裕があるならば餌場の把握や行動圏をテレメトリー調査に頼り、それと平行して目視調査を行うことが適切な手法であると考えます。

写真だより



ナガボノシロワレモコウ Sanguisorba

「長穂の白吾木香」とかきます。湿った場所に生える多年生の草本で、8月から10月に花を咲かせます。枝先に白くて小さい花が集まった8~9cmの花の穂をつけます。

ルリビタキ Tarsiger

日本に飛来する冬鳥達のなかでも、ルリビタキは人気の高い鳥のひとつです。成鳥の雄は胸のオレンジと背中の中がとても鮮やかで綺麗です。



アンケートのお願い!

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えて下さい。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所(坪山)宛に FAX(042-487-4334)** でお願いいいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。
第六号は、年明け平成十九年一月一日の発行を予定しています。
新年号では特集はお休みいたしますが、新年に向けての当社の抱負(熱い思い)をお伝えいたします。

焼き芋の美味しい季節、江戸時代のサツマイモ料理の本「甘諸百珍」にも焼き芋が一番と書かれています。今では、真空パックや冷凍のものが、ネットで簡単に取寄せできるそうです。買うのに少しだけ勇気が必要だった頃がなくなしく思えます。
そういえば、焼き芋屋さんは、夏のあいだ何をしているのでしょうか。
つ

コラム

